

SPECIAL MESSAGE

神戸百店会だより

St. VALENTINES SPECIAL

バスケットシリーズ

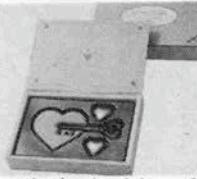
今年の月天堂バレンタイン、コレクションのテーマは「感度ピッ、ピッ。：ハートのテレバシー」。アダルト、ロマンチック、バラエティ、パレント、スケットの各シリーズが、バレン



「ふたりの世界」愛の国がテーマです。チョコレートに託して、その愛を大切にしたいのです。方によってさまざまの形の愛が生まれます。浪漫の国、情熱の国、伝統の国、青春の国、未来の国、それぞれの愛がつくり出す空間を「国」になぞらえ、展開します。アダルトなウィス

廿四

暖気をタオルで拭く間に歌を歌ふ
く愛をファンタスティックなチョコ
レートにのせて、テレビシーチしてみ
ませんか。奸評の「バーティバレン
タイン」もおすすめ品です。



◆ユーハイム



手紙で送れるチョコも
ボン。素朴なナツツチョコ
ファンタレート。

♥
ベル

●ベル
2月14日は女性から男性へ心を伝える
愛の日。街のウインドーなど
が華やかに色どられるなどステキな
プレゼントを添えてそっと心に秘め
ていた想いをいつも感じていること
で気持ちが伝えたいですね、あの人に。
線なんってたって I LOVE YOU
そんな世代に合ったチョコレートを
贈ってみてはいかが。



アダルトなあの人に

コスモポリタン



テイストイーチョコ

♥ゴンチャロフ

ゴン・シ・ヤコフのバレンタインは、スイート・ファニー・ティスティのシリーズです。それ以外にイベントとして素材を選び、心をこめて形づくる本格的な手づくりチョコレート

ショコで墨を伝えた

食フランジの手ヨコ

神戸ベルのお菓子たちはこの日、心を伝えるキューピットになります。

FAIR



●メープル不二屋が神戸店新装10周年フェアを

昨年11月28日から5日間、メープル不二屋'85特別企画として神戸店の新装10周年記念フェアが開催された。メープルオリジナルの家具をはじめ、イタリー製、フランス製の輸入家具が店内いっぱいに特別価格で展示され、日頃からの家具ファンを喜ばせた。なかでも、食卓セット、サイドボード類、キャビネットが好評で、値段も50%OFFのため、30代後半から40、50歳の実年世代に人気が高かった。

明治8年創業以来、充実した家具づくりを続けてきたメープル不二屋だが、今後とも、品質のよい落ち着いた神戸らしい家具を提供してくれることだろう

●おもちゃのカメヤが、1月3日～6日、さんちかホールでおもちゃフェアを実施した。正月休みとあって連続して賑わい、お年玉で財布の重いチビッ子たちの熱いまなざしが、リモコンカーヤ、テレビゲームなどに注がれ光る行は上々だった。

●田崎真珠三宮店で2月1日より、ネックレスセールが催される。人気の高いマベパールや、黒真珠のネックレスをこの機会に購入してはいかが。

●婦人服のベニヤ銀座店が、2月2日リフレッシュオープンする。洗練された神戸感覚

TOPICS



●クロスより

バリーのセカンドバッグを

婦人・紳士靴と舶来雑貨の老舗クロスより、英国ブランドの“バリー”のセカンドバッグを1名様にプレゼント。茶の地にこげ茶の地紋様。中は本皮でできており、上質で縫製もしっかりした品物(¥19,000)です。受け取りは、神戸っ子編集室まで

PEOPLE <41>



●お客様の好みを大切に買物の手伝いを

安藤 輝雄さん<株式会社三愛 三宮店店長>

東京で企画部に3年半席をおいたのち神戸に戻ってきた安藤さんは、実は神奈川県川崎市出身。「東京にいる以前6年間ほど神戸で勤務してまして、住むには神戸が良いと思った訳です」三愛に入社して23年目を迎える。「これからは若いOLを対象にグレードアップも考えています」来年の8月に改装予定。旅行好きの安藤さんの活躍が期待できそうだ。

PRESENT CORNER



●ベルより

コフレディッシュを

10月に新発売されたクッキー“コフレディッシュ”を今回は5名様にプレゼント。ベーシックなクッキーが14種類入った詰め合わせです。ティータイムにぴったりマッチの美味しさ。商品の受け取りは、ベル・センター街本店までどうぞ。

応募方法 ●葉書に住所、氏名、電話番号、希望する商品名を明記の上、神戸市中央区東町113-1 大神ビル9F「月刊神戸っ子」神戸百貨店会プレゼント係までご応募下さい。1月20日消印まで有効です。当選者には神戸っ子から当選葉書を発送。葉書を持ってお店まで、プレゼントを受け取りにお出かけ下さい。

★神戸ファッション市民大学OBによるグループ

<神戸のファッション都市化をめざす>

K.F.S. news 112

事務局／神戸市中央区東町113-1 大神ビル9F
月刊神戸っ子内TEL (078) 331-2246

'85 K.F.S Christmas Party

<世界のクリスマス>

アメリカ アフリカ ブラジル
アジア ヨーロッパ

12月20日、元町鳳月堂大ホールで、恒例のK.F.S.クリスマス大会が開催されました。今月のテーマは<世界のクリスマス>。アメリカ・タンザニア・ブラジル・インドネシア・イギリス5カ国の国旗をテーブルに掲げてのスタートです。ゲストシンガーには、シャンソン歌手の堀郁子さんを迎え、ピアノ演奏は中田実郎さんという豪華コンビ。荒津会長の挨拶にはじまり、ジャンケンゲームで会場は、一気に盛り上がりが。リングまわしゲームでは、男女10人による5チームが、口にくわえたつまようじだけで勝負をかけ、男女の熱い粒に、思わず会場からは悲鳴が聞こえていました。恒例のK.F.S.フィーリングカップルファッションショーは、男女10組によるナイスカップルを選出、その場で誕生したカップルとは思えぬフィーリングのよさに、ファッション都市神戸も感じられます。今年の目玉はコーヒーベロメーターゲーム。5カ国のコーヒーをそれぞれ飲んで種類を当てるというゲーム。コーヒー通の女性が見事パーフェクト達成。沸きに沸いたひとときでした。今年は全員に商品が、からくじなしの抽選会では皆さん、ホクホク顔。毎年盛り上がりムード満点となるK.F.S.クリスマスの最後は、キャンドルサービス。全員でクリスマスソングを合唱し、1年間の思いを込めたともしびを胸に幕を閉じました。



実行委員長より閉会のあいさつ



'スイング' 第4号

●2月のマンスリーサロン

日時／2月21日(金) P.M6:30～

場所／市立勤労会館4F

講師／谷岡郁子／神戸芸術工科大学設立

事務局運営委員長

NEWS

K.F.S会誌「スイング」第4号が発刊しました。「真珠」をメインテーマに、盛りだくさんのKOBEファッション情報を満載したファッションマガジンです。



谷岡 郁子さん

ひとつ・いん



★トアロードに民芸風

ステーキハウスが開店

昨秋、三宮に新しくステーキハウス「ステーキ房泊瀬川」がオープンした。

味、雰囲気ともに上々だと早くも食通の間で評判になつていている。調理を担当し

ているチーフは、この道35年目のベテラン。泊瀬川ならではの味づくりに専念している。特色は、店内の造り

にある。民芸調だが文字通りの「本格派」。単に見

場がいいだけではなく細部

にまで職人芸の粹が伺える

言つてみれば味と雰囲気が分かるアダルトのための

ステーキハウス。それが「ステーキ房泊瀬川」だ。



落ち着いた店内



店内にはいろいろも

M) サーロインステーキ3500円
エビフライ定食3500円、ステーキコース6800円。

□神戸市中央区三宮町2-9-3 (トアロード・ソニーショップ西入)

☎ 332-6516 11:30 A.M.-9 P.M.

★寒い日にはおそばと

焼酎のそば湯割で

オフィス街の真ん中にあ

る知る人ぞ知るそば屋さん。店内にはいろいろがしつらえてあり京風の落ち着いたムードは、本格派手打ちそばにふさわしい。

おすすめはお星のつる庵弁当。日によって変わるメニューはボリュームもたっぷり、お値段もお手頃(￥500)。ただしお星一番に行かないよと逃がしてしまふから要注意! 他にも有田焼の鶴の土鍋を使った

ハメニユーブ泊瀬定食(ステーキ・ライス・コーン・ラダ・ステーキ・ラーメン) (11:30 A.M.-2:30 P.M.)



オープン記念のパーティ風景

★北野町に新名所が

またひとつ増えました

昨年12月10日、北野の白

い異人館の北側にある「サ

ルート北野」の地下に「レ

ストラン・サルーテ」が、

オープンした。昼は、喫茶

タイムで、ケーキセットや

スペゲティが好評。ディナ

ーは夕方5時からで、フラン

ス料理主体のコースメニ

ューになつていて。数ある

メインディッシュの中でも

平目のブシエルモット風

味"、"鮭のムース詰めトマ

ト風味"は、サルーテのシ

エフのおすすめ品。店内は

トロピカルな甘口のテ

イフアーナ・サンライズ、

テキーラとコーラのメリ

コ・リブレ、メキシコ風

マティーニのテキーラ・

マティーニ、とてもフル

ーティなエル・バルコ

ラフルで、見るだけでも

楽しい(7:30-8:00円)。

ティファーナの"自信作"

はナランハ(1200円)

実はフレッシュ・オレン

ジ・ジユースなのだが、

カクテルもできる。その

他、ラムベースやウォッ

カベースのカクテルも各

種あり、若い女性に大も

てのティファーナだ。

る鍋"や"つるそば"など特製メニューが豊富。焼酎のそば湯わりもお試しを。

□中央区加納町6-16-2
ハニービルB1

0260 11 A.M.-8 P.M.

日祝休

●神戸うまいもんとドリンクイング
メキシコ小料理亭
ティファーナ
中央区中山手通1-21
パールコ一ボラスピル1F
242-10043



ライブ演奏もあります

〈その4〉

世界の誇り灘の銘酒

— 厳寒の酒蔵を訪ねて

「神戸っ子」たるもの、つねにファッショナブルでなければならぬ。となると、洋酒ばかり飲んでるようではダメである。古い、ダサイのである。

なぜなら、いま、時代の先端を切るヤング・レディーのあいだでは、焼酎だけでなく日本酒の見直しが始まっているし、わが「灘の銘酒」の海外輸出(28000kL)は、急速に伸びる一方なのだ。

SAKEは、日本文化を代表するモノのなかでも、もつとも歴史が古く、もっとも日常的な一つだが、諸外国は、いまになってようやく、それに気づき始めた。つまり、日本酒は、国際化時代の文化交流の先兵であ

り、そして、その最大の拠点は、わが「灘五郷」なのである。

西郷(澤之鶴・月桂冠・忠勇ほか)、御影郷(白鶴・菊正宗・剣菱・福壽ほか)、魚崎郷(松竹梅・桜正宗ほか)、西宮郷(白鹿・日本盛・白鷹ほか)、今津郷(大関・白雪ほか)の五ブロックを合わせると、なんと五十八社の酒造工場がある。カツコ内の名を見ればわかるように、全国銘柄は圧倒的に、灘に集中しているのだ。

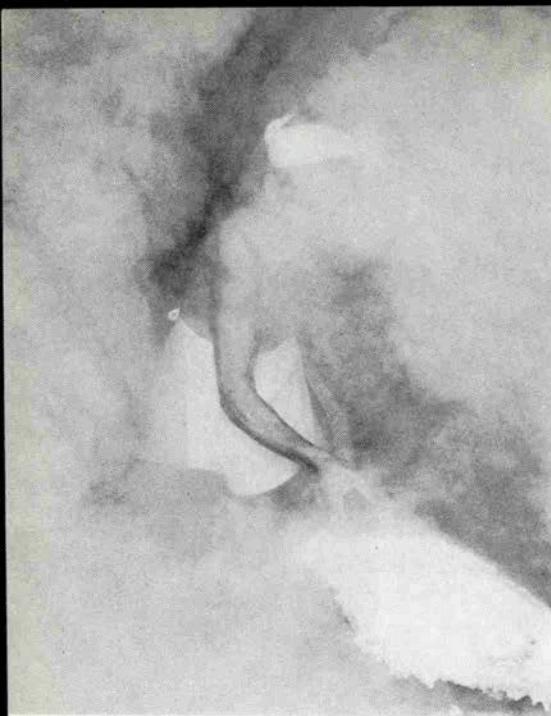
もちろん、「寒造り」は真冬である。頃は良し、年の暮れの一夜、酒造りの現場を見学することにした。主な工場は、明け方の四時ごろから始まる。泊り込み先は、西宮戎神社から西宮港に向かって少し南に歩いたところにある「白鹿」のメーカー・辰馬本家酒造の工場である。工場と言つても、私が見学したのは、古ぼけた蔵の一つ(新田十四番蔵)だった。この会社には、新・旧の蔵が動いているのは「手造り」の要素を多く残した製

法が、良質の酒には必要だからである。この「新田十四番蔵」では「超特撰黒松白鹿千年寿」が造られている。午前四時すぎ、蔵はすっかり活氣づいて、職人たちが



熟練の技で練り上げる





こしきから摂氏百度の蒸米を素早く取り出す

こうした酒造り過程を現場で管理しているのが、ペテランの「杜氏」だ。広い意味では、杜氏とは、「酒造季節従業員」一般の俗称だが、本來は、一つの蔵をあずかる現場の最高責任者の肩書きで、何十年ものキャリアと資格がないとなれない。

新田十四番蔵の場合、杜氏はこの道四十数年の野田勇さんである。ガツシリとした体つきの



室温 30°C という室（むろ）の中で麹が取り込まれていく

忙しそうに立ち働いている。木造りの樽はもはやほとんどなく、鋼製の巨大なタンクがたくさん並んでいるが、「蒸米」の入った大きな瓶は、昔ながらの木樽である。ハイライトは、摂氏百度にもなって蒸米を瓶から取り出して「放冷」機に移す作業である。一人の職人さんが、ヤケドを防ぐためのバカでかい靴みたいなものを履いて、上半身はハダカで瓶の中に入り、塊りになつた蒸米を放冷機に移す。放冷は機械化されているわけである。片隅では、何百枚ものカーテン状のパンプスに貼り着いた酒粕を、ハガしては束ねる作業がおこなわれている。そして、奥の部屋では、大きなタンクに、二階から長い「棒櫂」をおろして入れては、なにやら搔きませたり温度を計つたりしている。

だが、蔵の中核とも言うべきは、高温・高温の別室「室」である。厚くて重い扉を押し開けて入ると、サウナのような熱気がムンムンしてくる。室温は三〇度近くある。ここで「麹取込み」つまり、麹菌を繁殖させるわけだ。ここでも上半身ハダカの職人が、米を手で攪拌しては、何枚ものパンプスを上に重ねたりしている。

麹がこうして「育て」られてからはじめて「醸」（酒母）、さらに「醪」が仕込まれ、それらの過程で「宮水」が加わり、その上で醪を、酒槽（さけ）でしぼって「酒」と「粕」に分離する「上槽」過程、そして最後に上澄みを取る「滓引き」、加熱のための「火入れ（酒焚き）」・「熟成」（三カ月）となる。

新田十四番蔵の場合、杜氏はこの道四十数年の野田勇さんである。ガツシリとした体つきの

まわっても人がそろわないから、能登にまで求人に出かけることがあるとか……。平均年令も高まるばかり（五〇代）である。

部分的に機械化され、労働者保護がススンだ今にくらべると、仕事は、はるかにラクになつたが、スキニシップもなくなり、歌声も聞けなくなつた——と、野田さんは、感慨深げにつぶやきながら、古ぼけた小さな手帳のようなものをみせてくれた。

それは、酒造り唄を集めた小型のパンフレットだつた。その黄ばんだ紙の中に、野田さんの青春と壮年期が閉じ込められているにちがいない。酒造り唄には、故郷を遠く離れて嚴寒の季節に重労働する職人たちの、望郷の想いや、逃げ出したくなるほどの苦役への歎きが、行間に、さりげなく、歌われている。それを大きな声で歌うのは、寒さと辛さを忘れるためでもあつたのだ。

だが、もはや、歌いながらの酒造り——つまりは古典的なプロセスを、そのままたき姿で見ることは、できない。それを古い道具・人形・映像で再現しているのは、西から順に、沢の鶴・福壽・白鶴・菊正宗・白鹿などの記念館・資料館・博物館である。こういうところの展示物を観て、はじめて、酒造りの伝統がどのようなものであつたかが、理解される。一晩、蔵に泊り込んだぐらいでは、よくはワカらない。また、各資料館では、お酒が安く貰える。

もつとも堂々と風格があるのは、文化財クラスの木造の酒蔵（大正初期の建物）をそのまま使つた、「白鶴酒造資料館」だ。年間三万人の見学客が訪れ、外人も多い。担当課長の堀軍治さんによると、若い女性が次々にタクシーで（！）乗りつけるらしい。「おかげで、落ち込んでた当社の売り上げも、また上向いてきました」（五百億円＝灘で一位）と、明るい表情である。全般的な「日本再発見」ムード——とくに、若い女性と外国人の需要がふえ始めたこと、それに、美容・健康法その他へ

使わねばならない。

野田さんの最大の悩みは、「人集め」らしい。昔なら、酒造りに出掛けるのは、一つの誇りでもあつたし、使つてほしいと頼まれたものなのに、今は逆で、頭を下げる

微生物は生きてるから、二十四時間「お守り」をしなければならない——と、野田さんは言う。で、十数人の職人をあすかつて、数時間おきに、米・麹・酛・醸の状態をチェックしなければならない。だが、蔵人を集めるのも、賃金（意外に安い）のアップを会社に求めるのも、杜氏たちの仕事だ。事故・病気・火災の防止にも、神経



この道四十数年の野田勇さん。早朝の杜氏たちの手作りの味が酒のうまみを作り出す



白鹿記念酒造博物館にこの人あり・南野武衛さん（左）赤レンガの素敵な博物館をまわれば酒造りの全てがわかる（中）ここが宮水発祥の地（右）

の多元的な応用が、大きいらしい。

白鶴とは対照的に、地味でひっそりしてはいるものの一段と粹なのは、「瞬間凍結」で知られる福壽酒造が開設したばかりの「酒心館」だ。スペースは、きわめてささやかだが、三つの特色がある。自社製品だけでなく、（1）兵庫県の特産品を展示・即売しており、（2）地元のアーチストのギャラリイともなり、（3）立派なお盆と器で、お肴つきの生酒を飲ませてくれる（五百円）。

もちろん、とくに（3）がカンジンで、私の大好きなイクラが、オロシ大根の上に乗っかっており、ユニーケな菜漬けまで添えてあり、おまけに、その器がヒヨータンの形をした白い陶器（出石焼きか？）で、大きなグイ呑みとともに、黒い塗り・矩形の可愛いお盆に鎮座しているのである！「デリカシイ」がある。ついでながら、運んできてくれるのは、ハッピを着た、カワユイ甲南女子大生である。

ここでは、銀髪の上品な紳士、足立有常務（技師長・工学博士）が、蔵を案内してくださったが、ここは、白鹿のにもましてアンティークだった。なにしろ、「明治以前」の蔵（完全木造）と、戦前製の酒槽が、いまだに使われてる。そんなのは、おそらく、ここだけだろう。NHKテレビも紹介したばかりである。

だが、もつともモダンなのは、赤レンガ造りの瀟洒な「白鹿記念酒造博物館」だ。ここには、異人館風の「辰馬喜十郎邸」が付設されており、「おみやげ物」が完備しており、プロ・アマの描いた酒蔵の絵や戦前のポスターが、たくさん壁に飾られている。

事業部長は、西宮市の元図書館長・公民館長にして『西宮文学散歩』（のじぎく文庫）や『西宮文学風土記』（神戸新聞出版センター）の著者として知られた南野武衛さんである。人目を惹く知的美人の若き女性学芸員が運んでくれ、豪快・洒脱な「戦中派生き残り」たる南野さんと酌み交した「白鹿」の味は、また格別だった。



昔ながらのたたずまいを残す福寿酒造（左）ここにもまだ手作りの味が生きている（中）灘五郷一を誇る白鶴の記念館。酒店関係の見学者も多いという（右）

★白鹿記念酒造博物館 ☎0798・33-0008 火曜日休館

阪神西宮駅南出口から南へ徒歩10分

阪急西宮北口駅、国鉄西宮駅から阪急バス“朝凧町”

行き東町下車西へ3分

国道43号線、西宮神社を南へ折れて3分

★白鶴酒造資料館 ☎078・841-4105 土・日・祝日休館

阪急御影駅から車で10分

国鉄住吉駅から徒歩15分 阪神住吉駅から徒歩5分

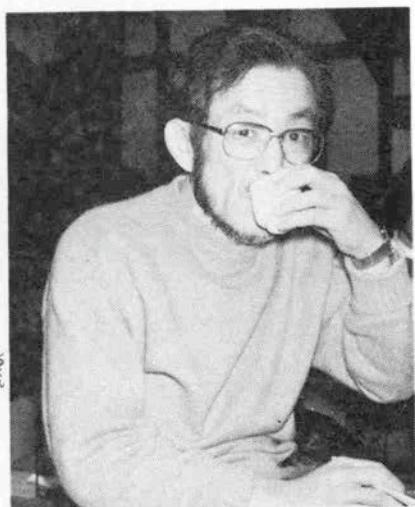
★福寿酒造酒心館 ☎078・841-6977

12月中旬～2月28日

阪神石屋川駅から徒歩8分

か?!

それなくとも、年中、全身から酒しゅ薰こうを発する私は、
「日本人なら、神戸っ子なら、なんでもっとサケを飲ま
へんのや！」と、心中ひそかに叫ばずにはおれない。
洋酒ばっか飲みやがる「非国民」どもよ、モングあつ



何といって日本酒のこの味。こたえられません

ビジネスに!
ショッピングに!
ご利用ください



磯上モーターポール
(神戸国際会館前) TEL (078) 251-2662 (8:00A.M.~11:00P.M.)

